

南山大学図書館報

ΔΥΝΑΜΙΣ

No.23

1994.10.1

智慧の宝庫 図書館

穴太克則

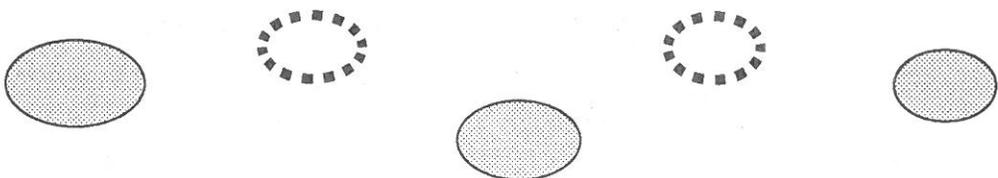
現在私はカトリックの大学に在職し、確率モデルというものを専門にしている。この3月に客員研究員として滞在していたUCLAの数学科から帰国した。かの地でも図書館は良く利用したし、南山でも良く利用する。主に専門に関する論文が掲載されているJournalの利用が多い。が、時間があるときは書庫の他の本棚を眺め探索する。科学者としてよりも一人の人間として、結構、キリスト教や仏教関係の書庫の前で立ち止まったりする。先日、京都府亀岡市の穴太寺というところに行ってきた。天台宗の寺である。幼い頃、わが家にはお経がたくさんあった。わが家は天台宗の寺であった。祖父の代に還俗した。母方の方は神社であった。これも曾祖父がキリスト教に改宗し（しなかったかもしれない）明治時代に終わった。それは大喧嘩だったらしい。仏様に、八百万の神様に、イエス様。そういう環境もあってか、幼い頃から身近に宗教を感じていた。わかりもしない哲学書や仏典や聖書を読み始めたのも小学校高学年であった。今は、イエスや釈迦は彼等の教えを人々が生きてくれることを願ったのではなからうかと思っている。

イエスは次の様に語られた。「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。自分の命を愛するものは、それを失うが、この世で自分の命を憎む人は、それを保って永遠の命に至る。」すなわち、自己保存、自我我欲、自分中心の心、この自我を砕き砕き心を透明にすること無しに永遠の命に至れない。煩惱即菩提という仏教の言葉がオーバーラップする。例えば、日常生活のなかで、「ずるいことをしても、人に知られずにうまくいけばそれにこしたことはない」と思ったことはないだろうか？この自己保存の思いを何度か繰り返すうまく行き、問題にならずに、やりすごす経験をするうちに「こういう問題のときは、このようにごまかしていけば大丈夫」という心の回路を作っていく。これは知らず知らずのうちに忍び寄り心を支配してゆく。些細な体験の積み重ねが心の中の思考回路の轍となり、私たちの生活を作っていく。真の問題はここにある。この、心の感じ方、受けとめ方、考え方、行為の仕方が必ずいつか大きな事態を惹き起こす。まさに唯心所現。心に在るものしか現実に現れない。人生に於いてなぜか同じ失敗を繰り返す人というのを身近に見ないだろうか？自分はなぜか同じ状況に陥ると思った人は少なくないだろう。ゼネコン汚職を思

い浮かべて欲しい。彼等は、事件が発覚する以前から同様の事を行っていたと推測できる。「このぐらいなら」「見つからなければよい」「業界の常識だ」等々。20年、30年と過ごすうちにこびりついた心の動きが、あの事件で一挙に表出した。彼等はこの世のエリートであり一騎当千のつわもの達であろう。いつの間にかあの業界で常識となった考え方、賄賂等に染まってゆく。自分の出世や権力拡大や上昇指向やノルマ達成のためにはそうしなければならない強烈な場の流れに染まってゆく。知らず知らず心は場の流れを吸収する。汚職の芽は日常生活のほんのわずかな日頃問題にもしない私たちの心の動きにあるとは言えないだろうか？

業（カルマ：仏教用語概念のそれだけでなく、その概念に含まれる「繰り返し現れる出来事、災い」としておく）の根は日常生活にあることをゼネコン汚職は教えてくれる。私達の一人一人が同じ環境に埋め込められれば、彼等は私達であってもおかしくない。一粒の麦のたとえばは日常生活で絶え間なく行なっている「感じ、受けとめ、考え、行為する」心の想念行為の活動をつぶさに把握し透明にしてゆくこととそこに基づく行為の大切さを説いていないだろうか？これは、何か言い表し難い、大きな理不尽な力をイメージさせる業の根を日常生活の中でひとつひとつ絶やしてゆくことを示唆している。日常の心の想念行為が現実に現れる。これを、私は仏教で言うところの「唯心所現」のひとつと理解する。イエスの一粒の麦のたとえばは、唯心所現に結ばれるように思える。逆に言うと、唯心所現の法則は「菩提心、菩薩心」が必ず現実化することを教えてくれているように思える。そのためには、実に根深い「自分の命を愛する」という自己保存心、煩惱、エゴ、を砕く日常生活の歩みが大切であることを教えてくれる。イエスは次の様にも語られた。「新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。」菩薩心の極致がここにあるように思える。「なぜか、ほっておけない」「なんとかしてあげたい」…。多くの人々の苦しみを取り除き安らぎの境地に立ってもらいたいとでも言うべきか、その菩薩心の片鱗は私達ひとりひとりの日常にも溢れている。持続する意志のエネルギーは唯心所現の真理に従い必ず現れる。未熟ながら野心のない高い志を実現するためには知識も技術も、より智慧をつけることも必要であろう。未熟でない人間はいない。しかし、人間には、その人にしか担えない働きがある。その人にしか見えない世界がある。その人にしか見えない目標がある。学生達よ、野心のない志を探し求め、高く掲げて欲しい。雑音にかき消されそうになるかもしれない、しかし、静かに燃える心の声を、闇を貫く心の声を聴いて欲しい。

(Katsunori ANO：情報管理学科助教授・穴太克則)



新しくなって



「GEMMA-II」 Debut !!

新しい検索システム「GEMMA-II」がいよいよ秋から登場です。これまでうまく使いこなせなかったあなたももう大丈夫。基本はマウスをクリックして検索を進めていきます。

「GEMMA-II」デビューを記念して基本的なマニュアルを作りました。これを参考にとにかく「GEMMA-II」に触れてみて下さい。なお、この秋『GEMMA-IIデビューキャンペーン』を図書館1F会議室にて行う予定ですので、そちらの方にもぜひお立ち寄りください。いちから使い方の講習をします。

では、次ページからのマニュアルを読むために必要な単語の説明を簡単にします。

マウス

机の上で動かして画面に表示されているポインタ(矢印)を動かしたり、ボタンを押して指示するためのもの。

クリック

マウスのボタンを押してすぐ離す動作

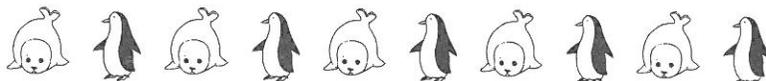
ポインタ

画面の中を動き回る矢印。マウスの動きに合わせて行きます。

アイコン

画面上に表示されている場合ここにポインタを合わせてマウスをクリックする。

自分のしたいことをこの絵に合わせるようになります。



1

この画面はGEMMA-IIの検索の基本画面です。

★ これはヘルプ機能です。操作中迷った時は にポインタを合わせてクリックして下さい。

★文字の入力方法を変更したい時は をクリックして下さい。画面 2 へ

★検索を終わりたいときはOFF をクリックして下さい。

★[ワード] 自分の探したいキーワードを入力後 をクリックして下さい。すべての項目 (タイトル, 著者等) から検索します。画面 6 へ

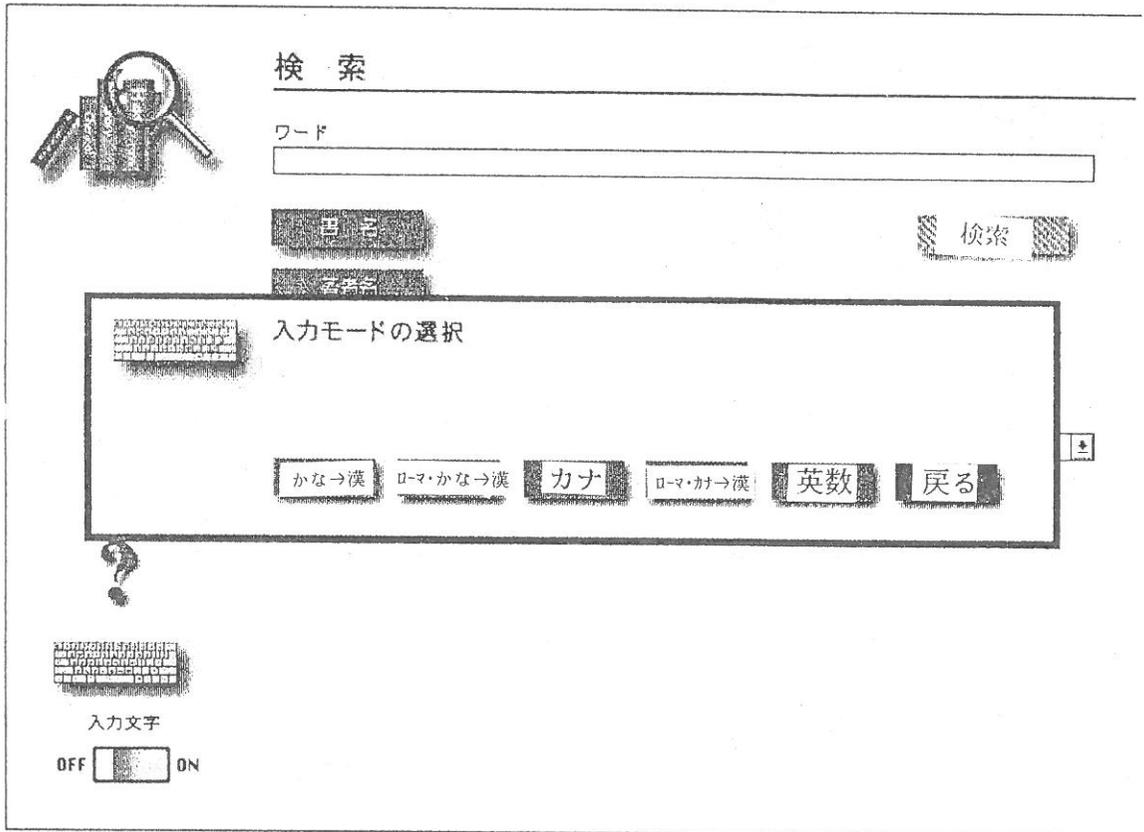
★ に合わせてクリックするとそれぞれの入力画面(ウィンドウ)が開きます。入力後(選択後)、検索をクリックして下さい。画面 3, 4 へ

★[図書/雑誌, 媒体, 資料群, 言語, 所在] を選択することによって、探している資料の形態、言語等を限定することができます。

★ をクリックすると文字入力なしでテーマを絞り込むことができます。(例: 社会科学→法律→民法→家族法)

2

キーボードの入力方法を選択する画面です。



★文字の入力方法は以下の5パターンあります。

かな→漢 **な** **ん** **ざ** **ん** →なんざん→ (変換) → 南山 

ローマ・かな→漢 **N** **A** **N** **N** **Z** **A** **N** **N** →なんざん→ (変換) → 南山

カナ **ナ** **ン** **ザ** **ン** → ナンザン

ローマ・カナ→漢 **N** **A** **N** **N** **Z** **A** **N** **N** →ナンザン→ (変換) → 南山

英数 **N** **A** **N** **Z** **A** **N** →NANZAN

 キーボード

3

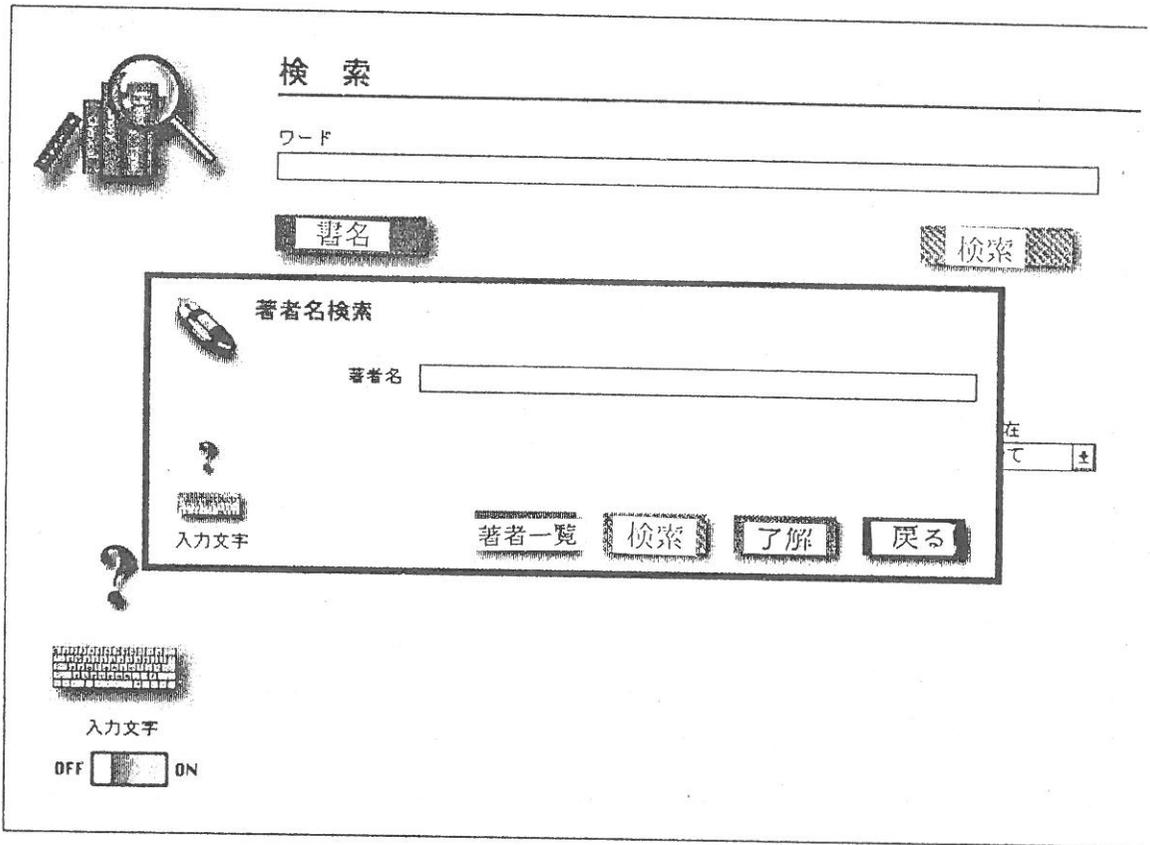
書名検索の画面です。検索画面で書名をクリックすると開きます。

- ★ [書名] か[書名ワード]に入力し、**検索** をクリックすると画面 6へ
 [書名] は前方一致（入力した文字を先頭を含むすべての書名を検索すること）で検索するので、本のタイトルが先頭からわかっている場合に使用します。
 [書名ワード] は入力したワードが、タイトルのどこかに含まれていればよいので、正確にタイトルを覚えていない場合使用します。
- ★ **了解** をクリックすると画面 1へ
- ★ **戻る** をクリックすると、書名検索は取り消されます。



4

著者名検索の画面です。検索画面で著者名をクリックすると開きます。



★姓と名の、ローマ字つづり（読み）又は、漢字形を入力します。姓と名の間のカンマは入力する必要はありません。

★姓と名との区別がつかない時はワードを使用してください。

★ [著者名] に入力する際、著者のフルネームがわからない場合、**著者一覧** をクリックするとリストのなかから著者を選択できます。画面 5 へ

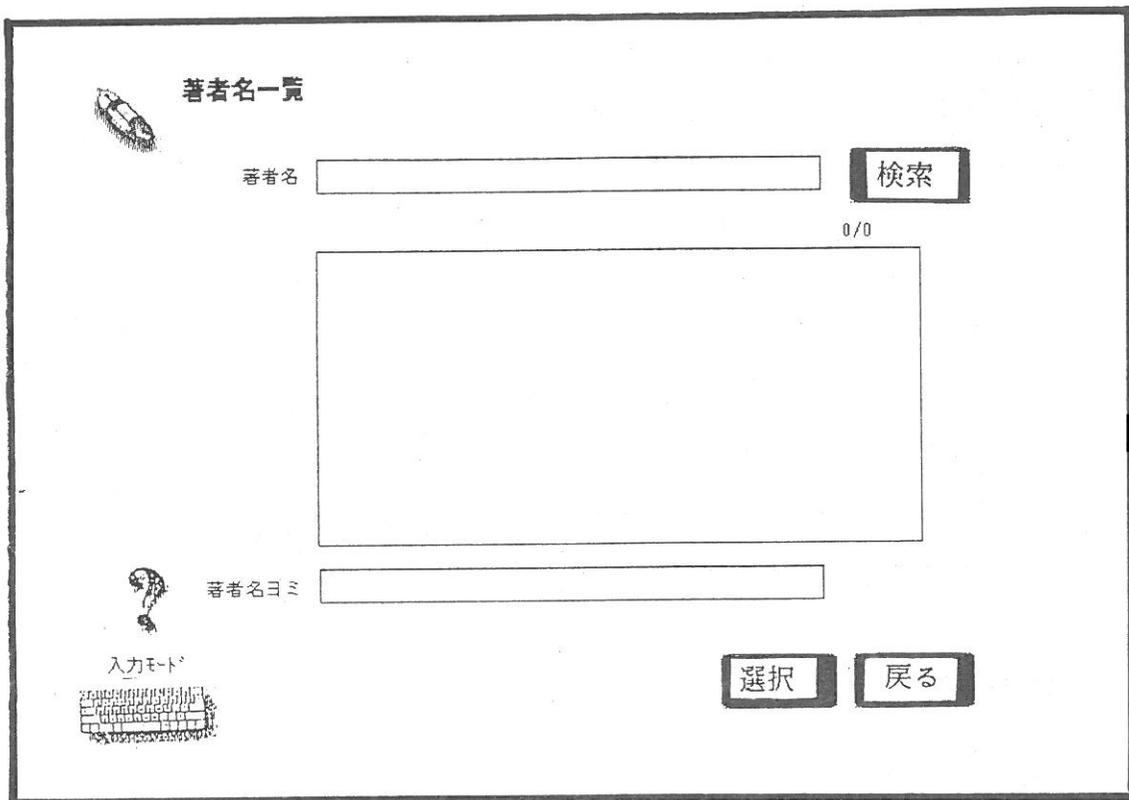
★ [著者名] に入力し、**検索** をクリックすると画面 6 へ

★ [著者名] に入力し、**了解** をクリックすると画面 1 へ



5

著者名一覧の画面です。著者名検索の画面で著者一覧をクリックすると開きます。



- ★ **検索** をクリックすると、所蔵している資料中の該当する著者のフルネームが表示されます。
その中から探している著者を選び、 **選択** をクリックすると画面 1 へ
- ★ **戻る** をクリックすると画面 4 へ



6

検索条件が表示される画面です。引き続き検索ができます。

★検索条件と件数が表示されます。検索条件は10番まで残ります。

★条件結果間の AND / OR 検索もできます。

★検索条件の中から自分の見たいものを選んで、**結果一覧** をクリックすると画面 7 へ

★入力した検索式を取り消したいときは **クリア** をクリックします。

★検索条件の番号を選び **復活** をクリックすると、検索式が再表示され式の修正ができます。



7

検索結果のリストが表示される画面です。



結果一覧

書名	著編者	出版年	
名古屋・四日市における対オーストラリアABC句集	著者不明		1/227
名古屋の産業と文化財	著者不明		
名古屋の市民所得	著者不明		
名古屋の事業所	著者不明		
名古屋の人口	著者不明		
名古屋の選挙40年の記録	著者不明		
名古屋の風聞人口	著者不明		
名古屋の文化平和公園の仏たち	著者不明		

所蔵冊数 1冊
0/1

請求番号	所在	状態	返却予定日
291K/1136	~	0	※閲覧S配架済

?

前誌
貸出予約
ダウンロード
印刷
詳細書誌
請求票

戻る

★検索結果のリストが表示されます。クリックした資料の所在場所と貸出状態が見られます。

★雑誌でタイトル変更があった場合、前誌 後誌 をクリックすると変遷一覧が表示されます。

★資料の詳しいデータが見たい場合、詳細書誌 をクリックすると画面8へ。

★貸出の予約をしたい場合、貸出予約 をクリックすると画面9へ。

★請求票が必要な場合、請求票 をクリックすると画面10へ。

★ダウンロード 印刷 をクリックすると検索結果のリストの詳細書誌/所蔵をフロッピーディスクにダウンロード、又は印刷できます。

8

詳細書誌の画面です。



詳細書誌

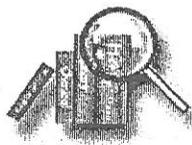
資料種別	: 図書 和書		
言語	: 本文:日本語 本標題:日本語 原本:日本語		
全国書誌番号	: 87042307		
学情 I D	: CP08568952		
書名/著者	: 名古屋市高蔵遺跡五本松町発掘調査概要報告書 / 荒木集成館編		
出版事項	: [名古屋市]: 五六産業, 1986.6		
形態事項	: 24p ; 26cm		
一般注記	: 奥付の書名:高蔵遺跡五本松町発掘調査概要報告書		
件名(一般件名)	: 名古屋市 -- 遺跡・遺物		
分類:N D C	: 210.2		
N D L C	: GB121		

所蔵冊数 1 冊 0/1

請求番号	所在	状態	返却予定日
215K/807	図書	配架済	

前誌
前へ
貸出予約
ダウンロード
請求票
印刷

後誌
次へ
戻る



結果一覧 9 貸出予約の画面です。

書名	著編者	出版年	7/101
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">TICKET 貸出予約</p> <p>利用者 I D <input type="text"/></p> <p>タイトル: 図書 監事 判次</p> </div>		1993	+
		1993	
		1993	
		1993	
		1993	
		1993	
		1993	
		1993	
		1993	
		1993	
		2/101	
		状態	返却予定日
		93.10.10	+
		93.10.10	
		93.10.10	
		93.10.10	
		93.10.10	
		93.10.10	
		93.10.10	
		93.10.10	
		93.10.10	

予約
戻る

★GEMMA-IIでは、貸出の資料を自分で予約することができます。利用者 I D (学生番号) を入力し 予約 をクリックします。

10

請求票を印刷する画面です。

結果一覧

書名 著編者 出版年 6/101

1993
1993
1993
1993
1993

1993
1993
1993
1993
1993

4/101

状態 返却予定日

93.10.10
93.10.10
93.10.10
93.10.10
93.10.10
93.10.10
93.10.10

印刷 戻る

印刷 戻る

INDEX * 5 *
INDEX * 5 *
INDEX * 5 *

前誌 貸出予約 ダウンロード 印刷 詳細書誌 請求票
後誌 戻る

★請求票を印刷したい時は、利用者ID（学生番号）を入力して印刷をクリックします。



*稼働時には画面が多少変更されることがあります。御了承ください。

◀文庫訪問▶



産業技術記念館図書室



今回は、6月にオープンしたばかりの産業技術記念館図書室を訪問しました。産業技術記念館は、トヨタグループ13社の共同事業として旧豊田紡織本社工場跡地に設立された、繊維・自動車産業の機械・技術の発展の推移を展示した産業技術博物館です。

◀モノづくりの大切さを次世代に伝えたい▶

日常生活で見る機会の少なくなってきた「モノづくり」と、それに必要な「創造と研究」の大切さと素晴らしさを実感・理解してもらおうと、繊維機械館、自動車館、テクノランドの三つの展示施設に2,700点にのぼる自動車機械等が、実演・体験コーナーを盛り込みながら展示されています。

◀図書室紹介▶

さて目的の図書室は、エントランスロビー中央に展示されている「環状織機」の左手奥、比較的目立たない所にあります。大正の歴史の重みとロマンを感じさせるレンガ壁とあいまって静かな落ち着いた雰囲気を感じ出しています。

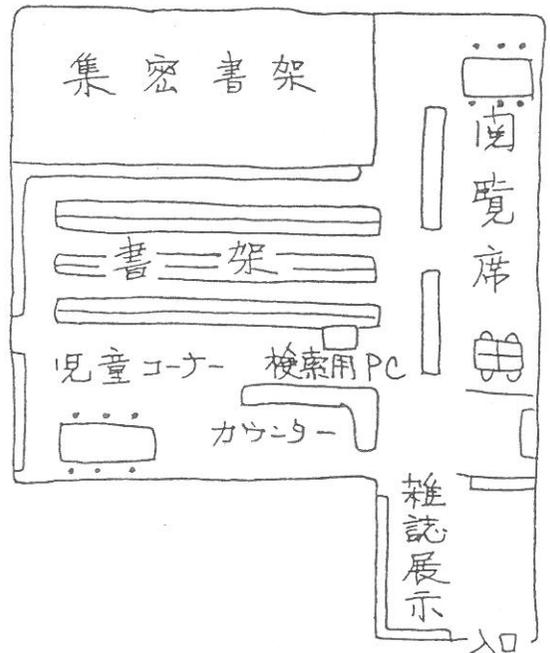
ここでは、特許庁から譲り受けた約1.5万冊の産業・工業技術に関する図書・雑誌(主に洋書)、トヨタグループ各社からの寄贈による技術関連文献・社史等6千冊、新規購入図書4千冊、併せて約2.5万冊の文献が収められています。そして、これらは全て閲覧室の検索用端末機(タッチ・パネル方式)で簡単に検索することができます。

図書室を運営されている近藤さんと坂野さんにお話を伺いました。

「記念館としては地味な施設ですが、戦前の雑誌等貴重な資料も多く揃っています。博物館的機能を持たせるため、古いものを重点的に収集したいと考えていますが、古書は値段が折り合わず、関係する会社の社史を揃えるのさえむずかしい状況です。」

「実際、豊田紡織本社工場の中心部動力施設跡地を“動力の庭”としてモニュメント化していますが、その動力源の内容については、トヨタの資料にも残っておらず、図書室の『機械學會誌』の記事で初めて分かりました。」(蒸気機関(ユニフローエンジン440馬力)での発電(300kw)分と名古屋電灯会社からの電力(720kw)とを動力源にしていた。)

文献も展示物を補足するだけでなく過去の遺産を伝える貴重な資料であることが、この話から伺えます。古い技術系雑誌に関してはイギリスのものが多く、例えば『Textile manufacturer』には挿絵、図がふんだんに使われており、産業革命後、織機等が変遷を遂げる中で、置き忘れられたような機械を知ることが出来ます。こうした文献は工学・技術の分野ばかりでなく、経済・産業史、科学史等においても当時を知る貴重な資料と言えます。



その他、

「特にお子さんにモノづくりの楽しさを知ってもらいたいと、自由研究・工作用図書、図鑑類、伝記を中心にした児童コーナーを設けました。」

「資料をもっと充実し、将来はトヨタ博物館(在長久手)や他の施設ともネットワークを結ぶことも検討したい。」等々意気込みを語る近藤さんですが、まだオープンしたばかりで利用者が少ないことも気に掛かる様子。どうぞ、記念館見学の折には、図書室にも必ず足をお運び下さい。

併せて主な展示館もここで紹介します。

<繊維機械館> =紡ぐ・織る機械の技術-

世界各地の糸紡ぎ機から、欧州より導入の近代紡績機械及び最新の全自動システムと各種機械までの展示、特に豊田佐吉発明の「G型自動織機」16台が轟音を上げて稼働する様は見もの。

<自動車館> =自動車技術と生産技術-

完成車そのものよりも、エンジン、ミッション、ステアリングなどメカニズムごとの技術の進歩の紹介に力点を置き、部品モデルの動きがボタン一つで、あるいは映像で把握できるように工夫されている。また、生産工程も初期と最新の生産ラインが展示されている。

<テクノランド> =機械の原理や機構を楽しく体験-

自動車や繊維機械に使われている基本的な原理や機構をゲーム感覚の装置で体感するコーナー。超巨大でこや風洞体験機、センサー迷路など遊びながらメカとエレクトロニクスの世界を学べる。

この他にビデオライブラリーやトヨタグループの歴史を紹介したトヨタグループ館もあります。

我々の住む「愛知」は、モノづくりのまちとして機能性・経済性・合理性を優先した産業基盤造りに力を注いできました。その一方で、「ゆとり」や「うるおい」等ソフト面での豊かさの見直しもなされています。ここで様々な技術の変遷を辿り、何のための技術革新・進歩発展かと思いを巡らす中で、過去ではなく未来に向けての多くの示唆を受けているのだということに気付かされました。近藤さんの良い意味でのこだわりに触れ図書館員として初心に帰ることのできた訪問でした。

(栗山義久・伊藤敦子)



ご案内

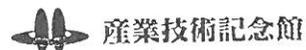
開館時間
◆午前 9:30 ~ 午後 5:00 (入館は午後 4:30まで)
※レストランは22時まで営業

休館日
◆月曜日 (祝日の場合は翌日)
◆年末年始 (12月29日~1月4日)

観覧料
◆大人 (大学生含む) 500円 ただし 図書室は無料
◆中高生 300円
◆小学生 200円
※30名様以上の団体は1割引 ※100名様以上2割引
※学校行事での学生の来館は半額

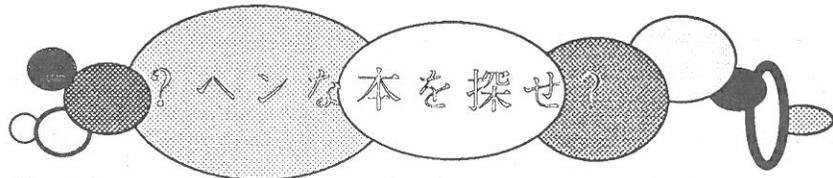
交通
◆【名鉄】「栄生駅」下車徒歩3分
◆【地下鉄】「亀島駅」下車徒歩10分
◆【市バス】名古屋駅前
バスターミナルレモンホーム10番のりば
「名古屋駅」行(じゅんかん)
「則武新町3丁目」下車徒歩3分
無料駐車場 乗用車 300台
大型バス 10台

施設の利用
記念館の大ホール(470m²)は有料で使用可能。



〒451 名古屋市西区則武新町4丁目1番35号
問い合わせ先/TEL 052-551-6111 FAX 052-551-6199

〈学生からのお薦めの一冊〉



『秘密の動物誌』

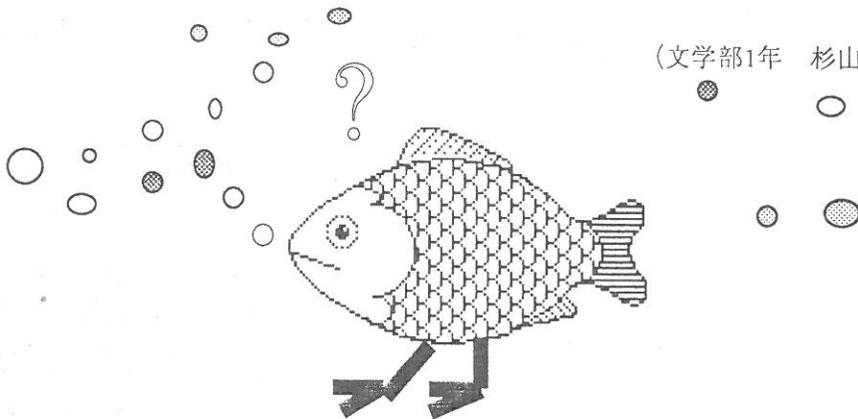
ジョアン・フォンクベルタ, ペレ・フォンミゲラ著
筑摩書房 1991年 請求番号 (482K/203)

大学の図書館は、退屈な本しかない、といわれることがある。ある意味で、それは正論である。研究資料としての本を供給するのが、特に大学では必要だからだ。しかし、私は敢えて反論する。面白い本だってあるぞ、と。

今回紹介する本は、『秘密の動物誌』という。見かけは、学術書のようなのである。地味な表紙がそう見せているのだが、中身もまた、動物の写真と記録程度の無味乾燥な文で出来ていて、一見して月並みな動物の専門書という感じだ。ところが、写真が変なのだ。貝に手足が生えている。トカゲが炎をはいている。猿が翼をもっている。考えられないような変な動物の写真ばかりが載っている。そう、これは騙し本なのだ。明らかに人を騙すために作られた本なのである。はなから、今は亡き研究者のコレクションを紹介する、などともっともらしいことをいい、そして、作者は最後まで決して、「この動物はニセモノだ」などとは言わない。写真には本物の動物も一緒に載せるといふ手までつかい、読者を驚かそうとする。まさに人を騙すためだけに書かれたこの本は、面白さ最高だ。

ところで、ここまで書いておきながら、実は少し心配がある。この本の動物たちがニセモノだという証拠がないのだ。骨格標本まで載っていて、リアルすぎる。実際、この本が図鑑の隣にあるのを見たこともある。本当は珍種動物の専門書なのか。心配になってきた。誰か確かめておくれ。

(文学部1年 杉山 建志)



ライブラリーカレンダー

1994.10 ~ 1994.12

10 月			11 月			12 月		
9:00	6:00	8:00	9:00	6:00	8:00	9:00	6:00	8:00
	6:30	書		6:30	書		6:30	書
1(土)		★	1(火)			1(木)		★
2(日)			2(水)			2(金)		
3(月)		★	3(木)	文化の日		3(土)		★
4(火)			4(金)	4:30		4(日)		
5(水)			5(土)	12:00	★	5(月)		★
6(木)		★	6(日)			6(火)		
7(金)			7(月)		★	7(水)		
8(土)		★	8(火)			8(木)		★
9(日)			9(水)			9(金)		
10(月)	体育の日		10(木)		★	10(土)		★
11(火)			11(金)			11(日)		
12(水)			12(土)		★	12(月)		★
13(木)		★	13(日)			13(火)		
14(金)			14(月)		★	14(水)		
15(土)		★	15(火)			15(木)		★
16(日)			16(水)			16(金)		
17(月)		★	17(木)		★	17(土)		★
18(火)			18(金)			18(日)		
19(水)			19(土)		★	19(月)		★
20(木)		★	20(日)			20(火)		
21(金)			21(月)		★	21(水)		
22(土)		★	22(火)			22(木)	4:00	★
23(日)			23(水)	勤労感謝の日		23(金)	天皇誕生日	
24(月)		★	24(木)		★	24(土)		
25(火)			25(金)			25(日)		
26(水)			26(土)		★	26(月)	4:30	★
27(木)		★	27(日)			27(火)	4:30	
28(金)			28(月)		★	28(水)		
29(土)		★	29(火)			29(木)		
30(日)			30(水)			30(金)		
31(月)		★				31(土)		

■：開館時間 書★：3・4年次生書庫入庫日(月・木曜pm 1:00~4:30、土曜am 9:00~11:30)

《編集後記》



栗が食べたい。柿も食べたい。さんま、焼芋、松茸も…。GEMMA-IIもかじりたい！

(A.K., K.S., C.N.)



(夕刊デザイン：平松富美)

南山大学図書館報 デユナミス No.23
1994.10.1.発行

南山大学図書館 広報委員会
編集委員：加藤、譚佐、野村
〒466 名古屋市昭和区山里町18
Tel. 052(832)3707
Fax(G3) 052(833)6986